

令和4年度品川区シルバー人材センター事業報告

公益社団法人
品川区シルバー人材センター
会長 岩澤政善

1. 事業実施状況

概 況

品川区シルバー人材センターは、昭和 52 年 4 月に高齢者事業団として設立され、さらに平成 23 年度には公益社団法人として新たにスタートを切り、今日まで長きにわたり、高齢者の多様なニーズに応える組織のひとつとして、就業の機会を提供することを通じて、その活動を援助し高齢者の社会参加と福祉の増進を図ってきた。

さて、センターの事業運営に影響を与える我が国の経済状況を見ると、令和元年度からの新型コロナウイルスの影響は和らぎ元の生活環境に戻りつつあるが、食料品を中心に物価の上昇、エネルギー資源の高騰等経済活動は厳しい状況に置かれている。

このような状況のなか、令和 4 年度は、引き続き「シルバー世代の活躍と地域貢献を目指して」の理念の下に重点事業となる各事業に積極的に取り組んできたが、コロナ以前のような成果が上げられなかった。

その結果、会員数では令和 4 年度末現在で前年度より 76 名、3.4%減の 2,150 名と大幅減となった。これは、入会面では会員のご協力による入会強化事業もコロナ禍の影響で人と会うこと自体が避けられる状況のため実績が上がらず、また出張入会説明会や入会説明会も思うように集客ができないなど新規入会者が確保できず、また高齢化と新型コロナウイルス感染への不安による退会者増が例年を上回ったこともあり、結果として会員数の大幅減となったというのが偽らざる現状である。

一方で、シルバー人材センターは雇用環境の悪化をうけて高齢者へ就業先の提供という本来の役割を改めて問われる状況にある。したがって、引き続き地域に積極的に出かけ、入会宣伝活動も充実させるなど広報活動を更に強化して入会強化の取組みと就業拡大を積極的に進めることが何より重要であると考えます。

事業実績については、シルバー派遣も含めた受託件数が 13,700 件と昨年度から 399 件の大幅減となるものの、契約金額は、11 億 9 千 4 百万円と昨年度より約 4,783 万円の増となったが、令和元年度実績には及ぶべくもない。これは、会員の減少により就業会員の確保が難しいため受託件数の減少が影響したものである。

最後に、センターの大きな課題とされてきた事故防止については、昨年度より 8 件増加している。ここ数年抑えられていた件数が増加したことは油断や不注意等様々な要因が推測されるが、センターや安全管理委員会を中心に安全就業に取り組んでいかなければならない。会員の安心安全を図る観点から改めて事故ゼロを目指し、これからも取組みを継続していくことが重要である。

以下、事業計画に沿った事業結果について報告する。

I. 事業目標・事業実績について

区分	当初 事業目標	事業実績		
		実数	目標との比較	前年度比較
会員数	2,400名	2,150名 (男性1,154名、女性996名)	△250名 (10.4%減)	△76名 (3.4%減)
就業実人員 (請負)	年間 2,000名	年間 1,817名	△183名 (9.2%減)	△1名 (0.1%減)
就業実人員 (派遣)		22名		△1名 (4.3%減)
就業延日人員 (請負)	年間 290千日人	262,002日人	△27,998日人 (9.7%減)	7,871日人 (3.1%増)
就業延日人員 (派遣)		2,442日人		△355日人 (17.0%減)
契約金額 (請負)	年間 117,300万円	1,180,955,896円		7,955,896円 (0.9%増)
		内 訳	公共 531,532,770円	
			民間 649,423,126円	
契約金額 (派遣)	年間 2,000万円	13,569,571円	△6,430,429円 (32.2%減)	2,311,284円 (20.5%増)
受託件数 (請負)	年間 15,000件	13,526件	△1,474件 (9.8%減)	△408件 (2.9%減)
受託件数 (派遣)		174件		9件 (5.5%増)

以下★マークが付いている事業については、新型コロナウイルスの影響により事業を中止した。

II. 公益目的事業について

事業1 就業機会の確保・拡大

(1) 区の施策との連携・協力

今年度も引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響を受けて、厳しい一年となったが、少しずつ終息に向けて事業も回復に向かい始めている。

今年度の前半では、区内小中学校の施設開放管理、シルバーセンターや地域センターの受付管理、目的外施設管理業務等は、開館時間の短縮など就業時間が削減されたことで、シルバー人材センターは少なからず影響を受けた。

一方で、参議院議員選挙公報配布、品川区防災地図の全戸配布、品川区長選挙及び品川区議会議員補欠選挙公報配布においては品川区長選挙の再選挙が行われるなど、配布業務については年間を通して受注増に繋がった。

また、区内でも問題になっている悪質な特殊詐欺に対し、区の地域活動課生活安全担当と連携して特殊詐欺防止啓発活動業務を受注し、地域の特殊詐欺防止にも一役買った。こうしたことから、今年度の公共の事業実績は、前年度を上回る数字となった。

しかしながら、コロナ禍が完全に終息するに至らず、コロナウイルス感染拡大防止対策や選挙公報配布についても一時的な単発契約であったため、さらに安定的な受注獲得のため区と連携協力しながら事業運営に努めていく。

(2) 就業機会の確保・拡大事業

民間の仕事としての請負・委託事業については、毎年継続中の事業が減少はするものの、年間を通じて実施した総数は 12,820 件の受託件数であった。そのうち新規の契約は 540 件で、多くは清掃・植木だが、他にシェアオフィス定期管理業務や町会からの防災グッズ配布などの依頼があり就業した。

① 技能系就業の技術の向上・リーダー育成

技能系就業においては事業継続のため、年間を通して就業会員の募集を行った。数名の新規就業者を得ることができ、新型コロナウイルス感染拡大防止に気を付けながら、OJT 等で技術向上を図った。

② ポスティング体制

ポスティングについては、配布期間の短縮及び就業会員の負担軽減のため、配布部数の多い地域や高齢会員などに対して配布地域の分割や配布枚数の軽減を推奨し、改善を図った。しかしながら、区内の会員登録数の少ない地域においては、後継者不足が続いており、配布業務の安定的な継続就業に大きな問題を抱えている。

③ 就業確保・拡大

就業確保・拡大のため就業開拓専門員による、区内の中小企業事業者・共働き世帯・高齢者の一人暮らし世帯等を対象とする就業開拓を行った。仕事の担い手となる新たな会員確保のため、入会説明会、出張入会説明会を行った。また、既存会員の就業希望などを再調査し新たな職種を希望する会員に対して、その適正を把握するため電話や対面でヒアリングを丁寧に行い、速やかな仕事と会員のマッチングに努めた。

(3) 地域・家庭からのニーズの充実

① 地域コンビニサービス事業

近年、高齢者世帯や単身世帯が多くなっている状況を反映して、病院の付添や買い物などの依頼が多くなっている。それらのニーズに応えるため受注体制の強化を図った。また、地域コンビニのチラシを清掃事務所や支え愛・ほっとステーションに設置してもらい事業の PR に努めた。

地域コンビニサービス事業

事業項目	実績	事業項目	実績
包丁研ぎ・まな板削り	278 件	室内外の片付け・整理・清掃	95 件
粗大ごみの搬出・解体	145 件	病院・買物の付添代行	28 件
家具移動・その他	55 件		

地域コンビニサービス計 601 件

家事援助

事業項目	実績	事業項目	実績
家庭内の掃除等	72 件	食事作り	6 件

家事援助計 78 件

育児支援

事業項目	実績	事業項目	実績
送迎	6 件	見守り	0 件

育児支援計 6 件

② 学習教室事業

区の補助を受けて、低廉な授業料で子ども向けの学習教室事業「おさらい塾」を実施した。令和4年度は小学3・4・6年生を対象として、各学年週1回の授業を行い、子どもの基礎学力の向上に努めた。

小学4・6年複式1クラス 小学3年1クラス

英会話初級3～4年生1クラス 生徒総数12名

③ いきいきプラザ事業の充実

荏原いきいきプラザでは、福祉的就業の場として封入作業や検品作業など内職作業を積極的に受注した。結果として単発の仕事よりも毎月定期的に実施する作業の比率が増えた。また、令和4年度は新型コロナウイルスに関連した配布業務の封入作業部分を東大井支所と協力し行った。

実績 27 件

(4) 適正就業への対応

適正就業となるよう担当職員による現場巡回や就業会員への聞き取り調査を行い、就業手順書の修正を随時行うことで適正就業の確保に努めた。

(5) シルバー派遣事業の展開

シルバー派遣事業導入後、事業の中心は保育補助業務であったが、今年度も新型コロナウイルスの影響から好転することはなく、既存の派遣先の維持に終始し実績は伸び悩んだ。そんな中でも派遣コーディネーターと連携し他の職種の開拓に努めるとともに、都の補助金を活用し過去にセンター利用歴のある事業所に事業 PRDM を発送、駅ポスター掲出、PR チラシの新聞折込・配布など実施し、事務補助1件・機械組立補助1件を新規開拓した。

今年度からすべての職員を派遣担当とし、1人の職員が案件により請負契約も派遣契約も提案できる体制を整備した。

(6) 地区委員会・ボランティア活動の充実

地区委員会は、会員相互のコミュニケーションの円滑化や「共働・共助」の理念に基づき会員の要望や課題の解決に向けて活動を展開した。

① 定期的な地区委員会の開催

新型コロナウイルスの影響により日帰り旅行などの開催は行えなかったが、地区委員会を開催しセンターの直近の話題、課題について意見交換を行った。また、会報シルバーしながわの配付を実施した。

★② 地区全体会の開催

地区全体会は夏期及び新年会は中止

地区活動費から記念品（出汁パック）の配付を行い地区活動の交流の一端を担った。

③ 地区委員長連絡会の開催

毎月の新入会員研修会に合わせ地区委員長連絡会を開催することで、各地区、事務局との情報連絡・情報交換を図るとともに、新入会員に対して地区委員長紹介の場を提供した。

★④ ボランティア活動

中止

事業2 普及啓発事業

(1) 会員の入会強化

① 会員募集の強化

会員の方へ友人・知人紹介カードを配付し、多数入会者を紹介していただいた地区には入会勧奨への功労を評価し表彰することとした。

10地区 45名入会

会員募集チラシは、区民に新鮮かつ好印象を与えるよう必要な修正を加え、新聞折込やポスティングと様々な実施方法で配布を行った。

また、シルバー派遣事業の展開に伴い派遣登録会員に特化した募集チラシの配布を行うことで会員増強を図った。

ホームページには新しい情報を迅速に載せることで、会員やお客様へのスピーディーな情報提供を心掛けた。

② 関係機関でのPR活動

区の関連施設での事業案内パンフレットや会員募集等のチラシの設置をお願いし、利用者の方に広くセンターを知ってもらうためのPRを行った。

③ 現会員数の維持策

未就業会員へお客様発注内容一覧表を発送することで就業意欲の喚起を行い、就業相談等への積極的な参加を促した。あわせて、新規入会会員で未就業の方へもセンター通信とお客様発注内容一覧表を送付し就業意欲の喚起を行った。

④ 女性会員募集の強化

高齢者世帯や独居高齢者・子育て世帯等、家庭からの家事のお手伝いや

児童送迎・見守り、保育補助などの受注増に安定的に対応するため、年間通して女性が働きやすい職種のイラストを多用した駅ポスター、看板の掲出、新聞折込及びチラシを作成配布し会員募集強化に努めた。

(2) 積極的な広報活動の展開

- ① 事業 PR チラシ配布、新聞折込チラシ、区内主要駅へのポスター・看板掲示
新入の会員募集及び事業 PR チラシ配布 28,800 枚
事業 PR チラシ配布 40,000 枚
会員募集チラシ配布 342,040 枚
会員募集チラシ新聞折込 13 回 678,450 部
区内主要駅頭へのポスター・看板掲出 11 駅
- ② 区広報等による周知活動
区の広報しながわ 7 回実施
区の統合ポスター 8 回実施
しながわ産業ニュースへの広告掲載 5 回実施
しながわガイドへの広告掲載 1 回実施
- ③ ホームページのリニューアル
就業開拓と会員増強を図るためホームページの刷新を計画しているが、デジタル化の推進と合わせて様々な機能面の充実や、先進センターの好事例などを参考にどのようなホームページが効果的なのか刷新案を検討した。

(3) 定期的な機関紙等の発行

- ① シルバーしながわ
広報担当理事と職員で構成される広報委員会が各発行時期に合わせて年 12 回編集会議を開催し、安全就業などセンターを取り巻く課題や身近な話題、地区委員会活動の取組みなどを取り上げた。また令和 5 年 10 月からの適格請求書保存方式に関する情報も掲載した。表紙には品川区内の季節の風景などを掲載し、会員の趣味や健康体操・簡単料理・会員の就業した内容を紹介するなど親しみのある紙面づくりを心掛けた。
年間発行回数 4 回 (4 月・7 月・10 月・1 月)
- ② センター通信
会員向けの月刊誌として直近の情報や注意喚起を会員に知らせるとともに、安全就業については欠かさず掲載し重要性を訴えた。そのほか、スマートフォン教室、ハウスクリーニング等の講習会の案内を行い、会員の日頃の悩み解決や技術力の向上を図った。また、インボイス制度への対応方針及び新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種に関する案内も行った。配付方法としては、就業中の会員には配分金明細書に同封するものとし、未就業会員に向けては各事務所に配置することで対応した。
毎月発行 年間 12 回

事業3 研修・講習事業

(1) 新入会員研修

センターの行っている事業の基本的理解と就業の際の注意点、接遇の大切さなどの研修を実施した。なお、選挙のため会場が確保できず9月は中止とした。コロナでの収容人数制限のため受講機会の遅れが発生している。

年間実施回数…11回 令和4年度受講会員数 152名

毎月の受講状況 (名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者	17	18	10	15	6	中止	20	16	10	9	8	23

研修プログラム 「接遇」 講師 (株)パトス
地区委員長との顔合わせ
つま先立ち体操
センターの課題及び挨拶 会長
センター事業の説明 事務局長、事務局次長
就業の相談、斡旋 各担当者

(2) 職群ごとの研修会の開催

会員の技能向上と資質向上を目指して職群ごとに基礎研修を実施し、接遇や安全就業などの研修を随時行った。いくつかの研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。

参議院選挙公報配布説明会	6/13	175名参加
特殊詐欺防止啓発活動業務	9/15・16	37名参加
植木作業班	3/2	14名参加
除草作業班	3/14	13名参加
出会の湯受付業務	3/15	46名参加

(3) 外部機関を活用しての研修

《東京しごと財団の就業支援講習会》

会員の技術力向上を図るため、東京しごと財団が実施する「就業支援講習会」に年間を通して参加勧奨を行った。

《第4ブロック共同研修》

インボイス研修	3名参加
交通安全講習会	8名参加

事業4 調査研究事業

第4ブロック内のセンターを中心に派遣事業やセンターの事業状況等の情報を共有し意見交換等を行った。特に派遣事業においては、引き続き都内のセンターで先進的に実施している事例を参考に調査していく。

また、令和3年度から実施予定であった第5次中期計画の策定については、新型コロナウイルス感染拡大の影響及び令和5年10月からのインボイス制度により事業計画は見通しが立たず、今後の状況を見ながら着手していく。

事業5 相談事業の実施

(1) 出張入会説明会事業及び入会説明会の開催

会員数の減少している地区や入会率の低い地区等に出張しセンターのPRや入会の相談・説明を行う出張入会説明会を開催した。また、常時入会手続きは行っているところだが、さらに入会の機会が増えるよう本部にて入会説明会を開催した。会場が確保できず、予定していた7月・9月・1月の入会説明会は中止した。

出張入会説明会

開催日	開催場所	参加人数	入会者
9/14 (水)	中小企業センター	8名	5名
1/31 (火)	中小企業センター	13名	5名
2/22 (水)	荏原第四地域センター	5名	3名

入会説明会

開催日	開催場所	参加人数	入会者
4/28 (木)	本部集会室	7名	3名
5/26 (木)	本部集会室	8名	6名
6/30 (木)	本部集会室	7名	3名
7/28 (木)	中止		
8/25 (木)	本部集会室	5名	4名
9/29 (木)	中止		
10/27 (木)	本部集会室	4名	0名
11/24 (木)	本部集会室	4名	0名
12/22 (木)	本部集会室	3名	2名
1/30 (月)	中止		
2/24 (金)	本部集会室	10名	6名
3/23 (木)	本部集会室	11名	5名

(2) 理事による就業相談

就業・未就業を問わず会員から広く就業上の相談や仕事上での悩みを理事が聞き取り、今後の仕事の改善や会員の生きがいづくりにつながるようアドバイスを行った。総務部会理事により主に未就業会員を対象に「お客様発注内容一

覧表」などを活用し、本部及び荏原支部で就業相談を実施した。

毎月第2木曜日 午後1時から午後4時まで

相談会員 49名（男性 19名、女性 30名）。その他、資料の持ち帰りに多くの会員が来所した。

(3) 不適格就業会員への措置

不適格就業会員の措置要綱を制定しているが、適用となる事例についてはなし。

事業6 安全就業対策の推進

センターにおける安全就業対策は法人組織の維持のためにも重大な課題であり、平成28年度より安全管理委員会を中心に多様な取組みを行ってきた。その結果、令和元年度から3年続けて、傷害事故発生を10件に抑えることができた。その取組みが評価され、東京しごと財団から「安全就業優良シルバー人材センター」として、令和2年度・3年度の2年連続での受賞につながった。

しかしながら、コロナ禍での運動力低下も影響したのか、令和4年度は18件の傷害事故が発生してしまった。事故概要については資料1のとおりだが、転倒事故が9件、転落が2件、動作の反動が3件、交通事故（自転車事故含む）が3件、その他（熱中症）1件の合計18件となっている。高さは低い所だったが、植木の転落が2件発生し、傷害の重篤化も進んできている。今後とも高齢者自らが再三再四の注意を繰り返す必要があるため、危険予知運動の定着化を目指し、引き続き安全就業の取組みを継続していくことが重要である。

(1) 安全就業強化の取組み

- ① 職群班の技能研修や打ち合わせ会を安全集会と兼ねたものと位置付け、安全管理委員も参加予定だった職群班会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くが中止となった。このため、シルバーしながわやセンター通信等を活用し安全就業強化に取り組んだ。
- ★② 地区全体会（年2回×10地区）での危険予知等周知活動については、全体会そのものが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。
- ③ KY（危険予知）運動については、シルバーしながわやセンター通信を通じて、会員への周知を図るとともに実践への働きかけを行い、それぞれの就業現場にふさわしい方法で取り組むように勧奨した。
- ★④ 自転車事故の件数が多いことから、自転車安全運転講習会を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(2) 安全就業基準の徹底

① 植木班、除草班を中心に安全講習会を実施した。

植木班では、就業前からのヘルメットの着用徹底を図るとともにヘルメット貸与時には安全就業のシールを貼るなどの注意喚起を行った。また、除草班にもヘルメットを貸与し、植木班と一緒に作業する場合などには枝の落下に備え着用を義務づけた。

② 高所作業（1.5m以上）時に使用する脚立や三脚等の、安全就業基準の徹底を図るため、今年度は造園業者による安全講習を含む悉皆研修を実施した。

また、安全パトロールにて脚立や三脚等が正しく使用されているかの確認と指導を行った。

③ 転倒予防に役立つようにと会議前等を実施している「つま先立ち体操」をより多くの会員に定着化するよう、会議前・安全パトロール点検時に実施し普及に努めた。

(3) 安全管理委員の活動強化

① 安全管理委員会の開催

安全管理委員会を年 4 回開催し、「安全対策基本計画」及び「安全対策実施計画」を作成・推進し事故ゼロを目指した。

定期開催 年 4 回（4 月・7 月・10 月・3 月）

★地区委員長との合同開催は中止

② 安全パトロールの実施

5 月から 3 月までの各月において植木現場を中心に年間 14 回実施し、事故防止を呼び掛けた。

10 月には東京しごと財団から安全パトロール員が来所、植木現場 1 件と施設管理 1 件の巡回点検を指導員・安全管理委員長他 1 名で実施した。

③ 安全就業強化月間の取組み

7 月・11 月・2 月と 3 回実施した。各安全就業強化月間の共通の取組みとして事故防止の注意喚起のチラシ配布、シルバーしながわでの安全就業に関する特集記事、センター通信等での就業途上の転倒事故・自転車事故防止の呼び掛けとつま先立ち体操の奨励等を行った。また、就業報告書を提出の際に事故への注意喚起をする一人一声掛け運動を実施した。その他各事務所で安全就業の垂れ幕を掲出し注意喚起を図った。また、安全強化月間においては安全パトロールを 2 回予定し実施した。

なお、三密を避けるため地区委員長の参加依頼は行わなかった。

以下、月ごとに行った取組み

《7月》

熱中症に対する注意喚起チラシを配分金明細書に同封

各事務所で「転倒防止」・「熱中症対策」の注意喚起チラシと熱中症対策「塩飴」を配付

各事務所を避暑シェルターとして麦茶を用意

《11月》

各事務所で風邪予防「のど飴」を配付

就業経路途上の転倒事故・自転車事故防止チラシを配付

安全標語の募集

安全グッズを「エイドクルー」に決定し12月より各事務所にて配布

(令和5年3月末まで配付)

《2月》

各事務所で転倒防止や路面凍結の注意喚起チラシと風邪予防の「のど飴」を配付

④ 会員への安全就業の周知

配分金明細書に適宜、熱中症予防・転倒防止・自転車事故防止等安全に関するチラシを同封し注意喚起を行うとともに窓口でも配付時に呼び掛けを行った。(熱中症予防チラシ・転倒予防チラシ・雪に関する注意チラシ等)

⑤ 事故再発防止講習会

傷害事故に遭われた方及び賠償事故を起こした方を対象に参加を義務づけた事故再発防止講習会を随時実施した。講習会は傷害事故に遭われた会員が就業に復帰する前等に事務局長・担当者・安全推進員などを構成員として開催し、計4名の会員が受講した。

⑥ 過去の事故事例集の活用

事故防止対策の強化を図るため、「傷害事故事例集及び事故防止対策集」を新入会員研修会において配付し事故防止の啓発活動に活用した。

(4) シルバー保険の加入、自転車総合保険の斡旋

① シルバー保険加入 全会員

② 自転車保険の加入の奨励

しごと財団や東京都で推奨しているサイクル安心保険や品川区の区民交通傷害保険の加入促進を周知した。

(5) 植木班・除草班の安全就業への独自の取組み

① 安全具の適正使用

植木現場に入る際は必ずヘルメットを着用し、安全帯も必ず用意し必要に

応じ着用することとした。安全パトロールで確認した際、違反は皆無であったが、残念ながら今年度は転落事故が2件発生してしまった。安全パトロール時にはその場限りのことだけでなく、作業が終了するまで気を抜かず事故防止に努めるよう安全啓発を行った。

② 職群会議及び安全講習会の実施

3月に悉皆研修として予定していた安全講習会は、造園業者に講師を依頼し実施した。技術的な指導は造園業者に実施してもらい、日頃からのルールの徹底については、担当者や安全管理副委員長から依頼し安全に対する意識を高めた。また、今回は転落事故当時の検証も行った。さらに講師からは安全帯の使用方法や作業時の段取りをしっかりと行う大切さ、ちょっとしたことが事故につながる危険性について実例を取り上げながら指導してもらった。

③ 体調管理

原則週2日は必ず休み、繁忙期でも週1日は必ず休みを取ることとした。特に夏場は熱中症に気を付け、こまめに水分補給や休憩を取り、体調管理に留意するよう注意喚起した。

(6) 事業継続計画（BCP）の策定

大規模な災害等が発生した時に備えて公共性の高い事業の継続性を確保するために実施すべき事業の対策及び発生時の会員や事務局職員の対応を図るため事業継続計画（BCP）についてマニュアルを作成した。

(7) 新型コロナウイルス対応

新型コロナウイルス感染拡大に対し、品川区シルバー人材センターとして実施した取組みについて報告する。

- ① センター各拠点については、手指消毒用アルコール液の設置、飛沫感染防止のためのアクリル板及びビニールシートを引き続き設置した。
- ② 定時総会や会議については、人数を制限しての縮小開催や中止措置を行った。
- ③ シルバーしながわ及び毎月発行のセンター通信において、ワクチン接種勧奨に関する情報提供を行った。

事業7 地域交流活動の充実

★(1) 会員交流コーナーの充実
中止

(2) イベントを活用した PR

イベント	実施日	参加会員・実績
みどりと花のフェスティバル	4/9・10 10/15・16	会員延べ6名 包丁研ぎ延べ162本
武蔵小山一番通り商栄会 一番祭り物産展	10/29・30	会員延べ3名 包丁研ぎ延べ130本

Ⅲ. 収益事業

国有地・所有地をセンターが道路占用許可や行政財産の使用許可を得て、駐車場として経営した。また、定期的な清掃、不法駐輪・駐車 of 撤去や道路の整理・整頓などを実施して周辺環境の整備に努めた。また、八潮橋高架下駐車場については、占用許可の更新に伴い、占用料の改定があり、令和 5 年度からの駐車場利用料金改定の周知を行った。

実績額 967 万円

Ⅳ. 法人運営（法人会計）

(1) 運営の簡素化

公益法人の機関運営については、簡素で効率的な法人運営の徹底に取り組んだ。

令和 4 年度定時総会

開催日時 令和 4 年 6 月 17 日（金） 午後 1 時 30 分～

開催場所 品川区荏原 4-25-8 スクエア荏原（イベントホール）

会 員 数 2,254 名

出席会員数 1,598 名（内委任状 1,564 名）

定 足 数 1,127 名（会員数の 2 分の 1）

議 案

第 1 号議案 公益社団法人品川区シルバー人材センター令和 3 年度決算報告について

第 2 号議案 理事 1 名選任の件（理事 1 名退任による選任）

報告事項 公益社団法人品川区シルバー人材センター
令和 3 年度事業報告
公益社団法人品川区シルバー人材センター
令和 4 年度事業計画及び収支予算書

(2) ガバナンス（内部統治）の強化

理事会の活性化及び監査の充実

理事会等を定期的で開催し事業の全体状況や会員の現状など運営全般を適宜把握し、課題や問題点について活発な論議を重ねて管理と経営の充実に努めた。また、監査についても適切な経理処理と経営改善につながるよう定期的に実施した。

理事会 年 12 回開催

三役会 年 11 回開催

監 査 年 2 回開催

2.会 員 の 状 況

(1) 会員の入退会者数

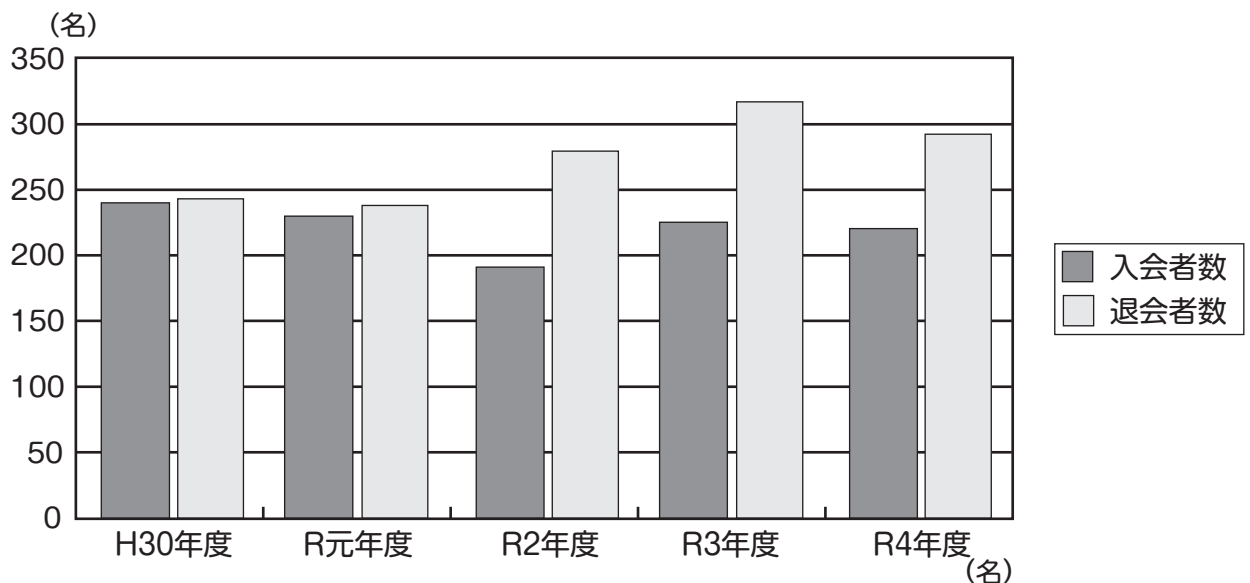
(名)

年 月	入 会		退 会		月末会員数		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
R4.4	36	36	19	25	1,236	1,018	2,254
5	10	13	10	10	1,236	1,021	2,257
6	7	5	16	7	1,227	1,019	2,246
7	2	5	50	22	1,179	1,002	2,181
8	5	8	5	3	1,179	1,007	2,186
9	7	17	36	17	1,150	1,007	2,157
10	11	6	6	3	1,155	1,010	2,165
11	7	3	3	2	1,159	1,011	2,170
12	3	9	8	5	1,154	1,015	2,169
R5.1	5	1	4	7	1,155	1,009	2,164
2	5	2	5	4	1,155	1,007	2,162
3	12	5	13	16	1,154	996	2,150
合 計	110	110	175	121			

退会理由

病 気	106名	家庭の事情(介護等)	12名
就 職	20名	会 費 未 納	45名
死 亡	36名	加 齢	39名
転 居	20名	他団体等への加入	0名
希望する仕事なし	12名	センター運営に対する不満	0名
就業機会なし	1名	未回答(不明)	0名
		そ の 他	5名
		合 計	296名

(2) 会員入退会者数の推移 (過去5年間)



区 分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
入会者数	241	230	188	224	220
退会者数	243	240	277	313	296

(3) 会員の年齢別内訳

令和5年3月31日現在(名)

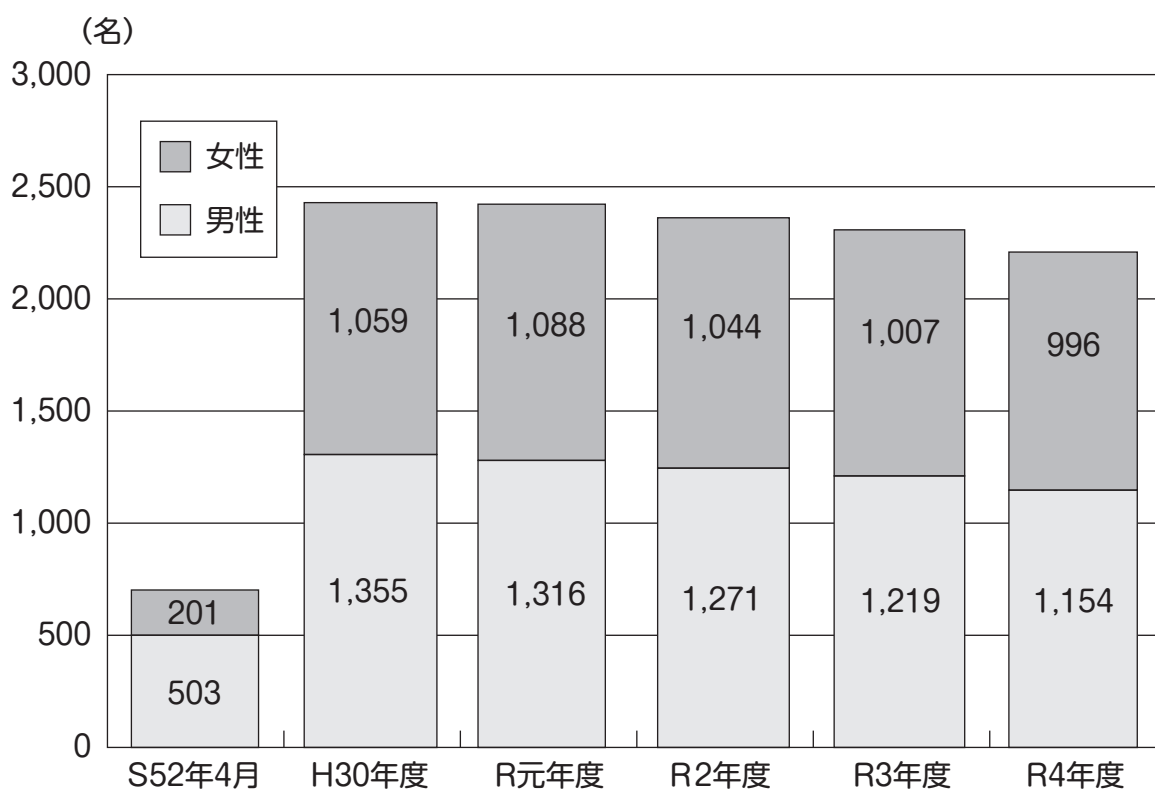
		60歳未満	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	合計
会 員	男性	2	25	76	283	386	382	1,154
	女性	1	26	109	251	314	295	996
	計	3	51	185	534	700	677	2,150

- ・会員の男女比 男性 53.7% 女性 46.3%
- ・平均年齢 男性 77.6歳 女性 76.6歳
- ・最高年齢 男性 96歳 女性 93歳

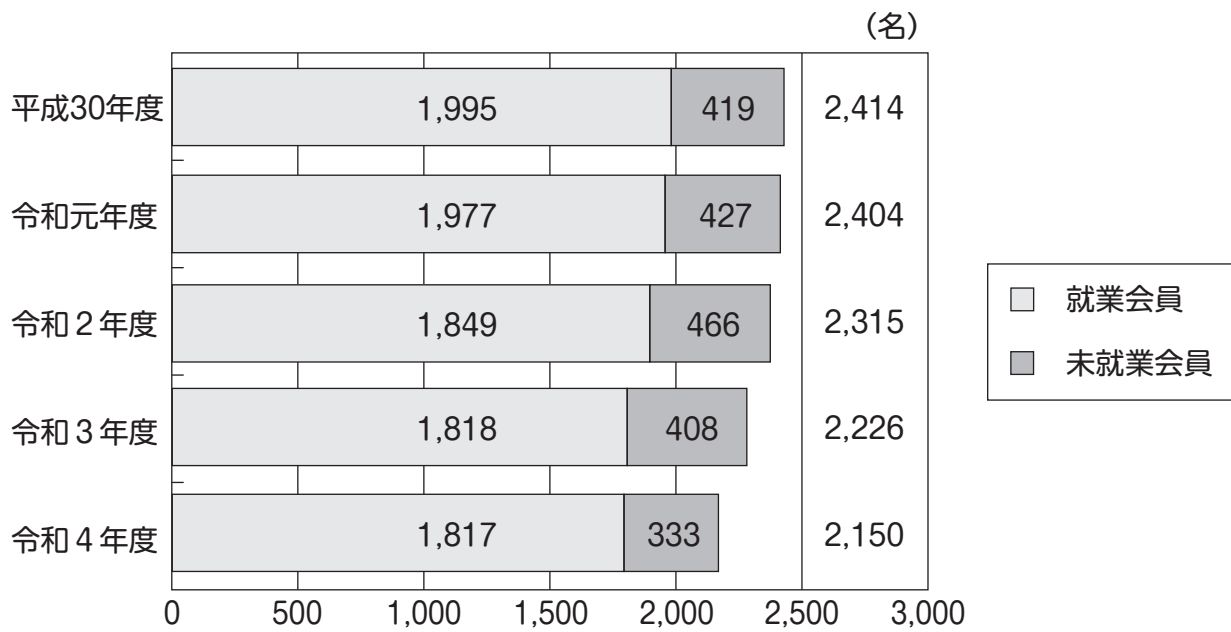
(4) 会員数の推移

(名)

	S52年4月	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
男性	503	1,355	1,316	1,271	1,219	1,154
女性	201	1,059	1,088	1,044	1,007	996
計	704	2,414	2,404	2,315	2,226	2,150



(5) 各年度別就業実人員の推移



(6) 各年度月別就業実人員

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 実人員
平成30年度	1,688	1,670	1,684	1,693	1,656	1,708	1,674	1,670	1,675	1,662	1,657	1,663	1,995
令和元年度	1,690	1,702	1,694	1,701	1,673	1,704	1,642	1,668	1,655	1,635	1,655	1,582	1,977
令和2年度	1,500	1,305	1,563	1,572	1,559	1,544	1,562	1,558	1,534	1,466	1,511	1,530	1,849
令和3年度	1,561	1,443	1,532	1,577	1,503	1,575	1,576	1,570	1,538	1,533	1,545	1,549	1,818
令和4年度	1,570	1,549	1,562	1,544	1,474	1,567	1,559	1,505	1,550	1,515	1,523	1,554	1,817

3. 事業実績

(1) 令和4年度月別事業実績表【請負】

月別	月別 会員数	事業別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額			
				延実人員	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
	人		件	人	日人	円	円	円	円
4月	2,254	公共	57	1,211	8,865	37,740,223	828,318	4,496,964	43,065,505
		民間	1,050	1,702	12,780	47,505,458	676,666	5,147,405	53,329,529
		計	1,107	2,913	21,645	85,245,681	1,504,984	9,644,369	96,395,034
5月	2,257	公共	57	1,339	9,660	39,160,646	663,833	6,558,067	46,382,546
		民間	1,129	2,045	13,820	48,827,965	994,171	5,338,433	55,160,569
		計	1,186	3,384	23,480	87,988,611	1,658,004	11,896,500	101,543,115
6月	2,246	公共	56	1,320	9,717	37,739,419	743,173	4,488,088	42,970,680
		民間	1,180	1,768	12,266	50,214,280	980,528	5,516,528	56,711,336
		計	1,236	3,088	21,983	87,953,699	1,723,701	10,004,616	99,682,016
7月	2,181	公共	60	1,203	8,504	42,806,189	868,898	6,502,688	50,177,775
		民間	1,075	1,789	12,889	48,517,661	1,086,844	5,309,603	54,914,108
		計	1,135	2,992	21,393	91,323,850	1,955,742	11,812,291	105,091,883
8月	2,186	公共	56	1,278	7,940	35,039,896	806,804	4,065,775	39,912,475
		民間	1,059	1,684	12,554	48,295,006	1,131,153	5,332,041	54,758,200
		計	1,115	2,962	20,494	83,334,902	1,937,957	9,397,816	94,670,675
9月	2,157	公共	62	1,113	9,193	35,798,872	1,177,376	6,167,307	43,143,555
		民間	1,085	2,157	15,436	51,348,784	1,253,679	5,850,359	58,452,822
		計	1,147	3,270	24,629	87,147,656	2,431,055	12,017,666	101,596,377
10月	2,165	公共	64	1,500	10,097	41,952,213	675,439	6,168,335	48,795,987
		民間	1,123	1,824	12,504	49,036,588	1,240,291	5,437,467	55,714,346
		計	1,187	3,324	22,601	90,988,801	1,915,730	11,605,802	104,510,333
11月	2,170	公共	52	987	8,069	35,287,281	736,601	4,472,352	40,496,234
		民間	1,149	1,799	12,115	50,035,857	1,080,834	5,629,526	56,746,217
		計	1,201	2,786	20,184	85,323,138	1,817,435	10,101,878	97,242,451
12月	2,169	公共	57	1,496	9,318	39,125,695	1,225,496	5,506,578	45,857,769
		民間	1,099	1,767	12,385	46,988,526	947,268	5,393,273	53,329,067
		計	1,156	3,263	21,703	86,114,221	2,172,764	10,899,851	99,186,836
1月	2,164	公共	56	1,179	8,112	32,441,525	611,925	4,439,084	37,492,534
		民間	958	1,442	10,691	42,191,658	854,700	4,829,001	47,875,359
		計	1,014	2,621	18,803	74,633,183	1,466,625	9,268,085	85,367,893
2月	2,162	公共	62	1,251	8,606	34,653,024	762,948	5,727,280	41,143,252
		民間	954	1,572	11,294	40,555,817	808,585	4,764,059	46,128,461
		計	1,016	2,823	19,900	75,208,841	1,571,533	10,491,339	87,271,713
3月	2,150	公共	67	1,533	12,832	42,834,881	2,874,576	6,385,001	52,094,458
		民間	959	1,549	12,355	46,663,578	904,552	8,734,982	56,303,112
		計	1,026	3,082	25,187	89,498,459	3,779,128	15,119,983	108,397,570
累 計		公共	706	15,410	110,913	454,579,864	11,975,387	64,977,519	531,532,770
		民間	12,820	21,098	151,089	570,181,178	11,959,271	67,282,677	649,423,126
		計	13,526	36,508	262,002	1,024,761,042	23,934,658	132,260,196	1,180,955,896

(2) 会員の職群別就業実績【請負】

	公共事業		民間事業		合計		構成比
	延日人員	配分金	延日人員	配分金	延日人員	配分金	
	日人	円	日人	円	日人	円	%
1.技術群	0	0	2,283	7,245,313	2,283	7,245,313	0.7
2.技能群	137	1,381,961	4,563	41,424,075	4,700	42,806,036	4.2
3.事務群	3,906	15,472,872	7,140	18,295,562	11,046	33,768,434	3.3
4.管理群	31,882	216,744,069	15,564	82,437,685	47,446	299,181,754	29.2
5.折衝外交群	410	1,129,000	2,279	3,863,127	2,689	4,992,127	0.5
6.軽作業群	29,417	109,368,305	102,791	392,762,743	132,208	502,131,048	49.0
7.サービス群	45,161	110,483,657	16,457	24,116,673	61,618	134,600,330	13.1
8.その他	0	0	12	36,000	12	36,000	0.0
合計	110,913	454,579,864	151,089	570,181,178	262,002	1,024,761,042	100.0
構成比(%)	42.3	44.4	57.7	55.6	100.0	100.0	

図-1 職群別配分金比率

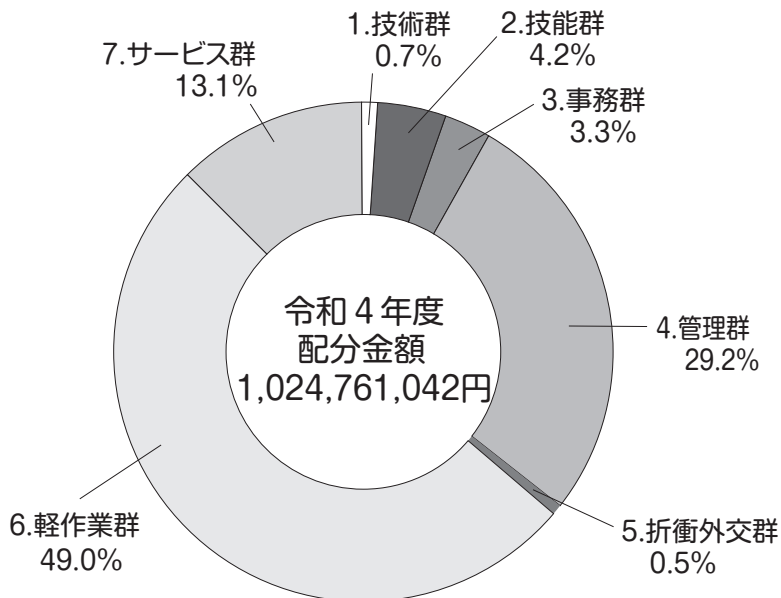
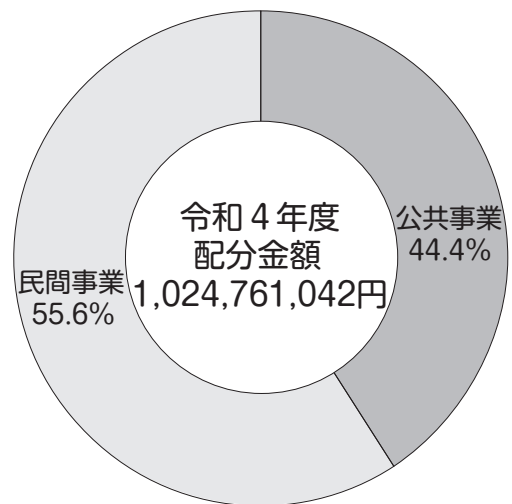


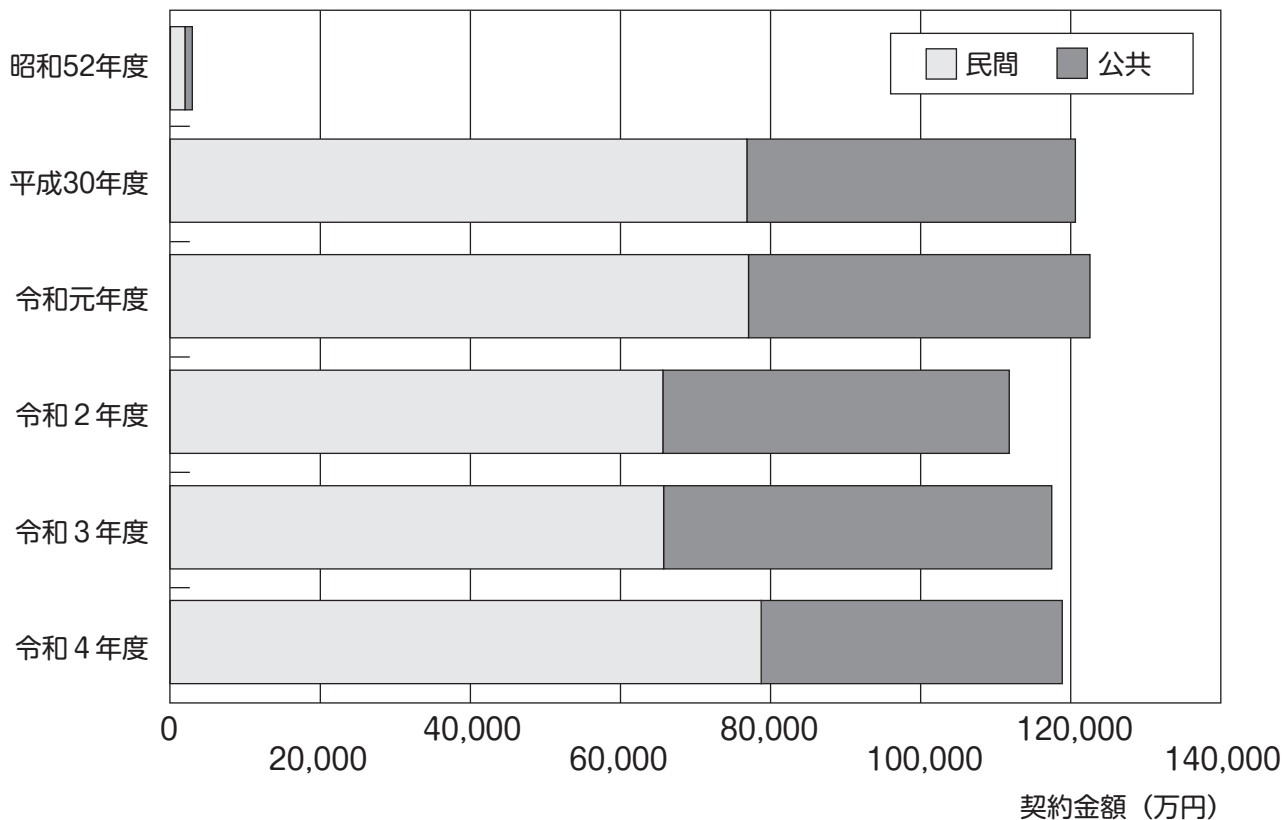
図-2 事業別配分金比率



(3) 各年度別事業実績（過去5年間）【請負】

年度	事業別	委託件数	延日人員	配分金	材料費	事務費	計	公民比
		件	日人	円	円	円	円	
昭和52年度	公共	79	3,235	8,636,296	682,986	502,882	9,822,164	33.6 : 66.4
	民間	704	5,132	15,847,884	2,363,864	1,177,307	19,389,055	
	計	783	8,367	24,484,180	3,046,850	1,680,189	29,211,219	
平成30年度	公共	602	102,657	396,956,455	6,844,721	39,849,155	443,650,331	36.7 : 63.3
	民間	15,414	192,205	687,800,559	12,148,557	63,883,836	763,832,952	
	計	16,016	294,862	1,084,757,014	18,993,278	103,732,991	1,207,483,283	
令和元年度	公共	588	108,954	421,498,143	10,736,799	50,528,094	482,763,036	38.9 : 61.1
	民間	14,923	181,773	675,234,719	13,911,733	67,734,362	756,880,814	
	計	15,511	290,727	1,096,732,862	24,648,532	118,262,456	1,239,643,850	
令和2年度	公共	620	100,028	377,064,737	5,989,788	50,482,690	433,537,215	39.3 : 60.7
	民間	13,350	151,128	590,490,265	10,864,548	67,882,907	669,237,720	
	計	13,970	251,156	967,555,002	16,854,336	118,365,597	1,102,774,935	
令和3年度	公共	669	103,258	407,280,440	7,116,640	54,763,412	469,160,492	41.3 : 58.7
	民間	13,265	150,873	584,617,055	12,288,706	69,365,039	666,270,800	
	計	13,934	254,131	991,897,495	19,405,346	124,128,451	1,135,431,292	
令和4年度	公共	706	110,913	454,579,864	11,975,387	64,977,519	531,532,770	45.0 : 55.0
	民間	12,820	151,089	570,181,178	11,959,271	67,282,677	649,423,126	
	計	13,526	262,002	1,024,761,042	23,934,658	132,260,196	1,180,955,896	

図-3 各年度別事業実績の推移



(4) 令和4年度月別事業実績【派遣】

月別	受託事業 件数	就業人員		契約金額		
		延実人員	延日人員	賃金	手数料等	計
	件	人	日人	円	円	円
4月	13	15	162	694,500	174,498	868,998
5月	13	16	164	692,820	209,149	901,969
6月	14	16	202	845,324	268,656	1,113,980
7月	14	16	190	801,576	236,992	1,038,568
8月	14	16	209	893,699	254,649	1,148,348
9月	14	17	202	857,505	229,268	1,086,773
10月	15	19	213	927,981	289,359	1,217,340
11月	15	19	229	992,948	284,666	1,277,614
12月	15	19	226	977,678	274,627	1,252,305
1月	15	17	200	873,196	271,738	1,144,934
2月	16	18	202	873,388	254,103	1,127,491
3月	16	18	243	1,070,791	320,460	1,391,251
計	174	206	2,442	10,501,406	3,068,165	13,569,571